

会派		自民新風会		日本共産党		公明党	
候補者名		栗原貴子(市議中井源樹氏の代表統一回答)		あらい真		八重樫 善幸(市議員団とりまとめ)	
						公明党は戦後平和憲法を守ることを訴えてまいりました	
問 1	集团的自衛権行使	賛成	○	我が国への攻撃を未然に防ぐためには、抑止力を一層高めることが必要であり、集团的自衛権の行使を限定的に容認すべきと考えます。	○		憲法九条の下で許容される自衛の措置の新3要件について述べており、この新3要件は、憲法九条の下で許容される自衛の措置の限界を示した重要な要件です。 公明新聞添付(自公協議会の方向性中間とりまとめ海外派遣へ3原則「国際法上の正当性」「民主的統制」「自衛隊員の安全確保」)
		反対					
		条件付き賛成					
問2①	永威戦① 久嚇争に まと法放 た武九業 は力条第 す行に第 る使よ一 はる項	変えることに賛成		戦争放棄など平和主義を定めた日本国憲法第9条1項は基本的に保持した上で、法文の意味をより明確にすることを趣旨として整理すべきだと考えます。	○		○
		変えない方が良い					
		その他	○				
問2②	めな陸② ない海憲 い。空法 交軍九 戦は条第 権保二 持は持 認し項	変えることに賛成		「前項の規定は、自衛権の発動を妨げるものではない」と規定し、自衛権行使にはなんら制約もないようにした上で、国防軍の設置、領土等の保全義務を規定すべきだと考えます。	○		○
		変えない方が良い					
		その他	○				
問 3	て憲 お九 ら条 れるを かどう とらえ	アメリカの参戦要請を退け戦争に負担しない筈となった		安全保障に想定外は許されませんが、日本国憲法第9条のもとで許されるのは、あくまでも国民の命と幸せな暮らしを守るための必要最小限度の自衛の措置だけです。憲法の基本理念である平和主義は守り抜いていきます。	○		憲法九条を護り、国連決議、国会承認が前提と考えています
		国の防衛の足かせとなっている					
		その他	○				
問 4	地方自治と国との関係	(府)市議会の議題はもっぱら(府)市政に関するもので、国家の基本法や基本政策については国会の議題で府・市議会の議論になじまない		日本国憲法と法律に基づきそれぞれ役割を遂行することが重要と考えます。	○		議員として憲法を護り、平和を維持することにつとめたい
		議員は憲法遵守の義務を負っており、平和や国家の基本法・施策について市民を代表して意見を述べるべき	○				